

# 「共用部のみ」プランも複数社

新電力会社で「極端

に契約件数が伸びた」として、分かりやすい割引体系を打ち出している。関西エネルギーパワー(本社大阪)は、今年1月に関西で開始した高圧契約しているマンション共用部分があるため、「関西さんよ対象の「基本料金半額プラン」や、低圧契約の共用部向けに従量電灯Bの電気料金から最大15%、動力の低圧電力は負荷率に応じて基

大20%、それぞれ削減できるプランが好調だ。

同社によれば、関西の実績は戸数ベースで1万戸を超えている。共用部向けの削減プランを提案する新電力が少なくない上に、複雑な電気料金のプランに対して、

関西では、同プランを契約しているマンションを対象に、専有部の電気代も削減する。有プラン「マンション専用プラン」も始める。事業者によっては使用量が少ないとメリットが出ないプランもある。

次ページにつづく

2017年(平成29年)8月15・25日合併 (毎月3回5日/15日/25日発行) (12)

前ページのつづき。マンションから幹線の同社は使用量とは関係なく、一律大幅に値引きする予定。1戸から利用可能で、初月の電気料金が無料になる期間限定の「早割」も用意する。

「IHにしたいという専有部分の需要が増えるだろう」とにらむ。既存の電気幹線では容量不足で対応できない

前ページは、調査や改修の依頼が増えている。ハードを含む総合的な提案も行う。負荷設備契約から主へ契約変更や、共用部へのLEDの導入も進んでいるようだ。

# 関